제596호 1911. 1. 10.

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金[illegible]▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久紳一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

特別廣告
旅行中ノ處昨日歸宅
辯護士 高橋章之助

民團議員改選に就て

和田常市氏談

ヤア民團存廢問題は一体どふなるんでもやうか土木警備等に關しては日鮮人共通でよろしいですが教育の點に於ては到底も鮮人と離隔して爲さねばなら無いと思ひます現に角改選といふことになりましたが以上は新選議員の士から十八人は久しく當地に在留する經驗ある人から十八人實業家側から十八人といよ工合に選出したらよかろうと思ひます選挙に就きましては從來の行掛りもあり到底理想通りには行きますまい此前は民長の官選となつた時に徹底期成同盟會といふものを作へて其處から私も出馬したが盛に其運動の機能旗色を明にしてやりますか堂だか而し十日過ぎにもなりましたら大分顔色も分りませう貴社の新聞にもあります通り競争しても議員になりたいといふ人があるやうですが龍山よりも五六名は出た方がよかろうと思ひます民長の任期は三年でしたか此の前官選になつてから無期就任となりましたが矢張り民選としなければ餘れかしなものと思ひます官吏と公吏の中間見たやうですね民團事業の急選を要するものは多々ありますが中にも小學校增築は尤も急を要するもので既に計畫をも立てゝるのです本年の敎育問題としては幼稚園のことです現在は女學校所屬の幼稚園と皇太子殿下記念の幼稚園と二つだけですが京城に計りあるといふのでは偏頗のやうですから龍山にも一つ作へてやらねばならぬ或は單に之を私人の經營に委して多少補助してやるといふやうにするが却て此の方が好いか・も思ひます現在旭町に湖崎氏が一つ幼稚園と技藝學校と一所に經營してますが餘程困難らしいです補助して與れるやう申出でもありますが未だに運ばないのは遺憾です民團が續くとなると民長は此前も民選と間接の手續を採てしたのですから施行規則が改正出來ぬとすれば是非民團員の意見を以て選任するといふことにしたいものです故伊藤統監も此點に就いては餘程苦心せられましたが民選にしなければ或は本來の趣旨にも戻りませうが私ですか未だ如何とも決定しませぬが何れ兩三日中には皆んなの顔色も分りませう云々

●熊本縣出漁船不況

平安

北鮮沿岸に於ける熊本縣民漁業根據地の出漁船は總數八十八隻なるが其漁獲物は凡べて東拓會社に委托販賣を爲し居れり而して右の內七十隻に就て調査したる處に依れば昨四十三年中第一期には六千七百九十七圓、第二期には九百九十圓、第三期四千六百八十三圓、第四期六百七十二圓なるが今第五期は二百四十七圓にて都合二万一千四百八十八圓の漁獲ありし次第なるが一隻平均四百九十五圓內最高漁獲高僅かに百六十圓にして之れを前年の漁獲高二千五百圓乃至最低七百圓に比する時は實に雲泥の差も啻ならず蓋し之れ漁族の集中少なかりしに原因するものにして强ち悲觀する程には非ず此の成績は昨年に比しても劣り例年とは差したる不景況にはあらず唯惜むべきは東洋拓殖會社の經營の方法拙劣にして自由販賣を束縛し人爲的價格の低下を見ると漁獲物を團島に持運ばしめたる爲め從漁日數を減殺せらるゝは大に面白からざる現象なりといへり

外事一束

▲英紙財政時事の所報に依ればアントアープにては淸國對海運業者間に關稅率戰爭起らんとすと獨米國にも亦懸案あり外事子曰廿世紀は到底關稅戰爭の舞臺我當局處を細にして關係付く勿れ

▲太平洋沿岸立法議會又々軍備擴張案に贊成せしゅん爲排日問題を提出しかりと外事子曰元來がモンロー主義てふ熱を吹く輸丈扱ゝ執拗なるかな這莫令じや朝鮮があるから御世話にやならぬ

▲淸米親交第二回總會去一日開る外事子曰經濟上の親交會にて表面政的分子無が如も近時淸國が到る處に排日熱を鼓吹するは懷疑に堪ゑす內政數多の懸案を擁しての無謀身知すと謂ふ可き乎

▲淸國分割の日獨露秘密同盟論に對しデリーメール反駁す外事子曰愚哉我政略上情誼上如此不可有何者かの爲さんとする仕業なり是も淸國の態度が空に遂ふが當面已日淸世響めざる可けんや

俳句

山茶花に[illegible]
家程によせし山家の落葉かな　ひさ子
納苑の寂や落葉の巣ひ音　ひさし
鶯鶯くる其所川にして花芒　荻水
掘鼠呂下落葉煙たき安旅籠　句郎人
臺一寸山茶花にさす日脚かな　梧桐
山茶花や格子作りの高藥醫　凉山
見る月のありて淋しき尾花哉　ふくべ
花に似て裸は早き落葉かな　松雪
山茶花や釜日の外は閑ヶ木戸　天女
瀧音も遠さかりてや山眠る　周防漢叟
吹き戻す泣は難なき尾花かな　梧桐

人位
行暮れて夕月淡き尾花かな　予耕

地位
川筋は風も流るゝ尾花かな　才涯

天位
山茶花や白くて寒き隣の醫　鱗久

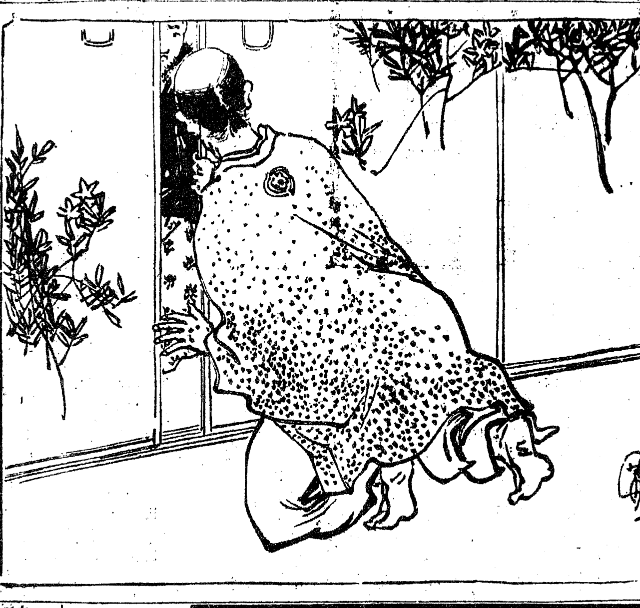
追加
杉に世をゆづりて山は眠り晩　還暦者舟耕



山中鹿之助

第五十二回　西尾麟慶演

然る處へ店の帳場で何かゴタ〳〵人聲が致しまする、浮舟は氣がゝりあれば廊下傳ひに裏梯子から密と廻つて様子を見れば、這は如何に浪花新町吉田屋の主人太左衛門と云ふ者が若ひ者を連れて來り、頻りに今宿屋の亭主に談判中であります、聞けば宿屋の亭主は泊ないと云ふを太左衛門は太『泊ないと云つても此町中を探して、モウ此家へ這入つたと云ふ事を見極めて來たのだから、左うれ秘しなさるなら、れ隱しなさる樣に是から代官所へ訴へて、夫だけの法を以て受取に參ります、夫よりも直ぐ此處でれ渡しなされば御前さんも代官所へ呼れもしないし、私も宜から出しなさい、表沙汰になつて代官所へ出れば相當な罰金も取られますゾ、夫から氣の毒で斯う話しを致しまするに泊た覺わがないと飽まで剛情を張ば仕方がないから代官所へ出る、家探しでも何でもしなければなりません　亭『夫はれ前さんがさう仰しやるが、私共は年來人を泊て居りまするが、其位るの事は知らない事は御座ひませんが、私共へも今夜婦人は泊りましたが人が違ひます……　太『じやア遇ふ遇はないと論をするより、一層の事有りだけの室を見せて下さい……　亭『外に客人もありますから、左うれ前さんに勝手な事は爲せられません、座敷を見せる事はなりません、と之を聞て浮舟は大きに驚き二階へ上つて古猪之助に龍つて參りました　浮『只今浪花の親方が追かけて參りました、捕まれば連れて往なければなりません、何うか逃れる工風はあるまいか、情けない次第で御座ひます　古『左樣か宜しい、左う云ふ不義の財を貪り遊女屋の事であるによつて人情など說ても無益であらう、我計略を以て其者を追歸してやると、ポン〳〵と手を打ちますると女中が夫へ參りまして　古『ム、亭主を呼んでくれ　女『ヘエ畏こまりました　下へ居りました間もなく亭主が參りました　古『ヤア亭主下へ參つて愚圖々々云つて居るは難波新町の遊女屋の主人であるか　亭『左樣で御座ひます、是ですから婦人の一人旅は泊ることは出來ませんと申しましたので……、代官所へ呼れますれば私も相當な科料を取られます、併し逃れるだけ逃れて見やうと存じて、種々申して泊ない積りに致して居りますが、誠に迷惑を致します、仕方がないから婦人を裏から逃してしまひませう　古『亭主拙者一ツ謀計があるから苦しふない、其貸座敷の亭主を之へ通して家探しをさせろ　亭『夫れでも見つけられましては……　古『イヤ大丈夫だ　亭『左うで御座ひますかと亭主は再び下へ降りて參りまして又談判をいたします　亭『何う申しても聽ぐつて代官所へ出たい家探しをしたいと云ふものなら勝手になさい、其代り家探しをしても居ない時は何うなさる　太『夫は居なければ何うでもれ前さんの云ふ通りにいたしませう　亭『夫は面白い、サア家探しをしなさい、と亭主は沈着て居ります、二階では古猪之助が工風をいたして、彼の婦人を隱してくれると云ふから、亭主は少しも恐れません、吉田屋の太左衛門は大に喜びまして、浮舟を探し出して此の家の主人に恥をかゝせてくれんと、三人の若ひ者に　太『れ前達は表に居て一人は裏を氣をつけ、一人は屋根傳ひに逃げられては大變だから屋根を見ろ、一人は表の番だと三人に云ひつけて、自分は二階に上りました、二階に於ては大谷古猪之助謀計を考へ出し、浮舟を床の間の上の違ひ棚へ入れまして襖〻兩方の開を少く開けて置き、九重纏の腰元を古葛籠の中の着物を出して、其中に入れ上より蓋を開けやうとしらた、低ひ聲で御発なさい〳〵と云ふ樣に敎へて、其葛籠を脇に置き一ツの葛籠には着物を入れて置き、今や來るかと待て居りますと、ガタ〳〵吉田屋の主人太左衛門が家探しをいたして居りますが何處にも居りません、何んでも此の室であらうと見込みをつけて、古猪之助の居室へ參りました



廣告

常所は太平町南大門北入右側新築落成

京城太平町一丁目南大門北入右側電話二二一番
多田不動產信託所
◎信託要項
△不動產放資金の運用信託
△土地建物鑑定調查測量
△貸地貸家田畑管理信託
△地料家賃小作料保護監督
△貸地貸家小作地無料案內
△土地家屋田畑賣買典當
△山林荒地鑛山賣買典當
△家屋月賦建築受託
△建物動產火災保險取扱
當所有市街宅地南大門外中央約四千坪破格貸地あり
▲放資信託
低利抵當貸金信託あり確實なる擔保物件の申込あり
◎賣買信託
土地家屋田畑買入希望者あり又同賣物の依賴あり
◎小口質物
秘密御預り可申土藏附新築所有家屋にて保管完全
質店は太平町南大門北入右側新築落成

病氣保養の爲め旅行に付年禮を總て缺如す
皆川廣濟

生徒募集廣告
本所第五回生徒募集ス入所志願者ハ來ル二月五日迄ニ入學願書ヲ差出シ左記期日ニ來所受驗ス可シ
但シ願書用紙ハ本所ヨリ交付ス
一、試驗期日　二月七日
一、試驗科目　體格、國語(讀方書方)算術(四則及小數分數)讀漢文
明治四十四年一月
朝鮮總督府工業傳習所

瓦斯コークス販賣
京城[illegible]町高等演藝館隣
酒井組
電話一一四九番

◎貸金
旭町二ノ一五 別府 高橋
有給者にて極秘密に低利融通可申候

質
京城旭町一丁目度支部官舍向側橫路突當
塩見質店

資本金五百萬圓
神戶海上運送火災保險株式會社
出張所 京城明治町二丁目(電話一一四九)

寫眞器
東京神田區通新石町大通 長電話本局百十三番
寫眞器目錄 新古 交換 合名會社
(幻燈器目錄郵券二錢)
振替口座一八九二四番
進々堂本店

龍山精米所
電話一二四番
京城米倉町
各位御多幹奉賀候陳者弊所は一方ならぬ御引立を蒙り奉謝候今般京城米倉町(南大門內朝鮮人側市場側)に新工場移轉致候原動機は最新式瓦斯發動機を据付候のみならず精米器械に於ても萬般良改を加へ候間製品は從來より一段の精選を期し候何卒倍舊の御高庇を以て多少に拘らず御用命の程希上候

廣告
一電車開通
一發電所落成
一給仕數名至急入用
總督府醫院線去十二月卅日より開通致し乘車賃金三錢と規定の事
且龍山發電所増設中の處近日完成致候に付御入用の向は此際御申込被下度候
一月十一日より一月卅一日迄引込料二割減にて施行可仕候
十四歲以上十八歲以下の男子にして希望の者は自筆履歷書持參の上至急當會社龍路事務所へ來社相成度候也
明治四十四年一月六日
日韓瓦斯電氣株式會社

最上醬油
釀造元
仁川港萬石町
高杉醬油釀造場
電話七六五番

諸官衙御用品一式
安心火止石油販賣部
石油各種鑛油各種卸部
炭、薪、酒、醬油
日用食料品一式小賣部
京城南山町一丁目百十四番戶
奈良屋商會
電話六八八番

資本金五百萬圓
本店東京日本橋區吳服町
支店派出所 橫濱 天津 釜山 京城
東京建物株式會社京城派出所
營業科目
土地建物抵當貸附
月賦償却建物建築
土地建物賣買紹介
京城旭町二丁目百十五番戶
電話番號一六八一番

小生儀今回エールリツヒ氏發見新劑驅黴療法(六〇六號)實地研究の爲め本月二日出發東京醫科大學に於て見學月下旬歸京後博く該患者の注射療法の需に應す
京城旭町一丁目
鈴木外科醫院
鈴木謙之助

東京電報（九日）

▲東宮北海道巡啓　東宮殿下には本年七月中北海道巡啓あらせらるゝ由の御內定あり

▲王世子學習院入學　王世子殿下には今十日學習院に入學あらせらる

▲王世子に御下賜　天皇陛下には德大寺侍從長を李王世子邸に差遣せられ學習院に入學の[illegible]を下賜あらせられたり

▲大久保司令官　目下滯京中なる大久保軍司令官は十日午前東京發歸任の途に就く由

▲海軍大演習　明治四十年以來我が海軍の大演習なりしが今回愈々明四十五年秋季に於て海軍大演習を擧行する事に內定せり

▲新造巨艦起工式　我國より英國に注文したる新造巨艦は來る十七日を以て愈々起工式を擧行する筈

●英照皇太后例祭　來る十一日は英照皇太后例祭日なるを以て宮中皇靈殿に於て午前九時より嚴かなる御祭式を行はせらるゝ由同時に京都泉山陵にて御祭典を行はせらるゝ由

●寺內總督の招待　寺內總督は來る十二日午後六時より同官邸に[illegible]

●昌德宮の午餐會　李王殿下には九日正午より昌德宮に於て寺內總督以下總督府の勅任官及び[illegible]を召され午餐會を催されたり

●寺內總督の贈呈　寺內總督は昨八日昌德宮李王殿下に[illegible]を贈呈したり

●鐵道局記者招待　既報の如く七日午後六時より天眞樓に於ける鐵道局の當地記者團を招待し盛んなる宴會を催されたるが席上三本營業課長の挨拶に次で吉野京日社長の答辭あり散會したるは午後十時なりし

●東拓總裁の招宴　宇佐川東拓總裁は十日午後五時より花月樓に於て官民數百名を招きて新年宴會を開くと云ふ

●總督府醫部長の招宴　十一日午後六時より倶樂亭に於て藤田軍醫部長は將校以上の軍人を招きて新年宴會を催すと云ふ

●警務部長の招宴　藥師川京畿道警務部長は九日午後六時より梅の家に憲兵各分隊長、警務部員一同を招き新年宴會を張れり

●古社寺保存案　朝鮮各地に散在し居れる古社寺に對し寺內總督は非常の趣味を以て研究しつゝありしが結果內地と同樣其保存法を設くる必要を感じ當局中より內務部をして其調査を爲さしめ居たるが今回愈々朝鮮に於ける古刹有權者が自ら其建築物破損修補の道を講ずる能はず且つ保存困難なるものに對し總督の必要と認めたるものに相當の保護を與へ歷史考證の資料たらしむべく近く其古刹適則なるものを總督府令にて公布する筈なるが同規則の實施は來る四月一日よりなりといふ

●各道會計主任會議　各道會計主任會議は既報の如く去四日より總督府に於て開議中なるが今其經過一斑を記さんに四日は兒玉局長の挨拶に止まり五日は新年宴會の事とて個に打合會を開き六日より本會議に移りたるが先づ各道主任より一般の會計事務章程に付き質問を試み兒玉局長、入江經理課長は是れに關して精細の說明を爲し大体の疑義は忽ち氷釋する所となり七日本府の諮問事項に就て討議を開きたるが其事項を示すれば一經費分配、一恩賜金公債、一俸給、一旅費、一仕拂關係、一證明、一物品關係、一雜件注意事項等ありて各自は其懷抱を吐露し次いて八日も引續き諮問案を議せしが兒玉局長は時々出席して說明の勞に當り同日午後には小原地方局長出席し地方費に就き一場の訓示的演述を試み九日は地方費取扱に關し武藤地方課長出席して說明を與へ且つ注意事項に就ても大体の解釋を爲し引續き開議し居れるが何れも熱心にして殆んど夜を徹するの勢あり兒玉局長の與へたる會計の取扱上に關する訓示は頗る有益にして其の大要は新官制は舊日韓國政府と統監府との事務を統一したるものなれば此際各道に於ける地方行政の情弊を打破して統一の實を擧げざるべからざるにあり從つて會計の如きも統一し以て地方行政の上に一大効果を來すべく本會議を開設したるものなれば各道各自の意志を疎通して充分の協議を遂げられん事を希望す要之會計の整理統一は地方行政の主腦なれば是れが運用如何は其關係する所ろ決して尠からず云々と云ふにありし

●道路改修工程　各道に於ける道路改修工事は漸次進捗の狀態にあり京畿、忠清南北及び黃海道管內より起工したるものは略ぼ竣成しつゝあるも近頃計畫したるもの及び北朝鮮地方の改修工事全部の竣成は來る六月頃となるべしと

●東拓會社と移民　東拓會社の本年度移民は總申込數の內より百八十三戶を撰拔し馬山方面に六十八戶榮山浦方面に十八戶水原方面に十三戶靈島方面に二十四戶全北及江景方面に六十戶を移住せしむる由なるが移住民は殆んど全國に亘り團体移住者は福岡、岡山、宮城、山口、朝鮮等より七團体あり福岡より慶尙南道固城郡東邑面に移住する三十二戶を最大なりとす右は本月二十日より來る三月十日迄に移住を終る筈にて東拓會社は其期間社員を下關及群山に出張せしめ移民事務を取扱ふ外尙は釜山、馬山、木浦、榮山浦、金堤、江景、水原、京城の各地に案內者を置きて移住民を案內せしむる筈也

●東拓出張事務取扱　東洋拓殖會社にて朝鮮移住民壹千人を募集したる事既記の如くなるが該移民は本月廿日より三月中までに渡鮮すべきに付き乘船手續き旅舍取定め其他の事務取扱ひの爲め下關市に同社出張員事務所を設くる事となりしより同社にては社員村上秀一氏を六日下關市役所並に兩警察署及び門司水上署に出頭せしめ便宜取計はれたき旨懇請せしめたりと云ふ

●釜山棧橋完成期　目下頻りに工事を進めつゝある釜山稅關所管の大棧橋は既に大体の構設を終りたるを以て來る三月頃までには全部落成を見るべしと

●府內私立學校視察　京城府內に於ける私立學校は目下百餘校を算するが公立學校と聯絡を取るの必要上是れが視察の緊急を感じ居れども公務多忙の爲め其運びに到らざりしも斯て永く放任すべきにあらざれば今回京畿道廳に於ては右視察を府公立學校の八教官と府廳の學務主任に命ずる事となり向ふ一ケ月を期とし一教官十餘校を擔當し詳細の視察を遂ぐる筈にて十日午後三時教官學務主任は道廳に參集し內務部長の出席を得て視察上の方針を打合すべき筈なり

●工兵隊の爆破演習　十三日午後一時より四時三十分に至る時間內に於て工兵第二大隊第一中隊は龍山四方高地作業場に於て鐵道爆破の演習を爲す由爆破藥料は七十キログラムなり

●道內務部長視察　京畿道廳中大路內務部長には九日午後三時道廳及府廳の學務主任等を隨へ麻浦に趣き新築中の普通學校々舍並に道路、溝渠等を視察せり

●水產組合業務成績報告　朝鮮海水產組合にては十六日より開會する代議員會は明治四十二年度の同組合業務成績報告をなす可く該報告書を印刷せりと

●鐵嶺丸の郵便物賠償　遞信省にては去年七月二十二日大阪商船會社所有船鐵嶺丸が朝鮮近海に於て沈沒したるは不可抗力に因るものと斷定しがたきものと認定し今回遭難郵便物の賠償を要求することに決し夫れ／＼各管理局長に通牒したり

●哈爾賓東洋語學校　哈爾賓露國東洋研究會は此程總會を開き豫て同地に於て計畫中なりし東洋語學校を設立することに決定し本年早々建設に着手する筈なるが其名稱は哈爾賓東洋語學校とし修業年限三箇年、學科目は日本語、清國語、蒙古語、英語、極東地理、極東歷史、極東各國の法制經濟の諸科に分つと云ふ

●仁川倶樂部例會　仁川倶樂部は十日午後六時同樓上に於て第三回例會を兼ね新年宴會を開催し終りて大谷裁判長の朝鮮特有の司法制度と云ふ演題にて一場の講演ある筈なりと

●雜誌朝鮮一月號　政治經濟に關する半島雜誌界唯一の巨朝鮮の元旦號は法學博士橫井茂氏の朝鮮內務行政の發展は刻下の急務也を初めとし教育經濟に關する大隈伯金澤博士關學務局長及各銀行支配人の剴切なる論說を揭げ研究欄、文藝欄亦或は知名の士の新智識を紹介し或は人生思想の描寫微妙を極むるもの幾多殊に同誌特色の雜纂は頗る興味ある記事を以て幾十頁を埋めたるが間々糊付などのしあるは如何の譯にや同誌愛讀者は勿論一般購讀者に惜多きことたるべしとマラヤ山人の人物月旦は寫し得て妙なりと雖も毀譽深く蔽して僅かに首肯せしむるに止み少しは飽き足らずされど材料豐富なる資料を供給する同紙の將來は蓋し江湖の紙價を高からしむるものあるべし

●選擧期日と開票　京城民團に於ける議員撰擧名簿縱覽も去七日を以て終了し告示の如く來三十一日選擧を擧行する筈なるが投票時間は未だ確定せざれど多分午前七時より午後三時頃迄なるべく斯て翌二月一日開票する趣きにて右は兩三日中告示の運びに到るべしと

●稅制調查會　既記の如く當民團の稅制調查會は九日午後一時より民團樓上に於て發會式を兼ね第一回の會議を開催せり當日は古城民長列席の上調查會開設の所以を述べそれより稅制に關する大体の調查方針を熟議したるが委員は其後囑托を辭したる者あるより新たに補缺を囑托し是れに助役峯尾晉三郎會計役海浦篤彌の二氏を加へ總員十七名となりしが今重複を嫌はず其氏名を列次すれば左の如し
△石井新△德久米藏(龍山)△大村保太△和田常市△藤津三雄△盛古體藏(龍山)△竹內菊太郎(龍山)△田村義次郎△曾我勉△中島司馬之助△中村再造△山口太兵衞△皆川廣濟△進辰馬△杉山孝平

●民團立學校始業　當民團立小學校、高等女學校等には去七日にて冬期休業相濟みたれど翌八日は日曜日なるに付何れも本日より授業を開始せり尙幼稚園は來十六日を以て始業の筈

●李容九氏の轉地　久しく東萊溫泉に靜養中なりし一進會長李容九氏は經過良好ならざるを以て知己親戚の切なる勸めにより近々日本內地に轉地療養すべしと云ふ

●朴泳孝氏の旅行　侯爵朴泳孝氏は約十日間の豫定を以て大田大邱地方へ向け十日午前九時南大門發列車にて出發すべしと云ふ

●境警視の歸國　警務總監部在勤警視境喜明氏は鄉里肥前に在る母堂危篤の報に接し九日午前九時南大門發列車にて歸國せり

●境警視母堂の訃　警視境喜明氏の母堂は鄉里肥前に於て九日午前死去す

選擧界の表裏

▲商榮會と池田氏　和洋雜貨商の組織せる商榮會は京城龍山を通じて約七十名の會員を有し各種同業組合中に在つて其團結最も鞏固なりと稱せらるゝが同會は會員全部を率ゐて現任會長池田長兵衞氏を推薦せんと欲し寄々交涉の步を進めつゝありと

▲三好派と龍山　龍山は孤獨到底當撰の成算なきは何人も看取し得る處にして結局京城側と提携の必要あり之が爲めに某派の人々は五名の議員を物色し之に三百票の得票を提供して款を三好氏一派に通じ來れり蓋し同氏の爲めには多大の聲援たるべきか

▲眠獅の山口氏　山口太兵衞氏曰く予は必ずしも議員たるを要せず又議員たらざるも民團の公事業に就ては何時にても干與し得べし故に人の推擧を享くるあるも固辭する考なりと然れども何人も此の言を信ずるものなく必ず最後に於て猛然蹶起すべきを期待し眠れる獅子と稱して警戒し居れり

▲中島氏の鼎　數日前本町南山町の有志二十餘名某亭に會合して撰擧に關する準備相談を爲せるが此に洩れたる中島司馬之助氏之を聞いて煩悶遣る方なく從來最も賴みとせる森勝次氏あるに予を除外せしは予の鼎輕きかと俄かに騷起し居れり

▲辻屋店主曰く　予は毛頭議員たらん野心なし尙は二三年間市井の一商估として持重し徐ろに貫目の加はるを待たんかな唯だ今回は是非三好和三郎氏を推薦すべく折角奔走中なり若し夫れ貴紙上に於ける予の得票の如きは何者かの惡戲なるらめ云々

▲鐵道局の態度　鐵道局有權者總數九百五十九名中二百八十名は龍山區に於ける一大勢力なり現に有實に鐵道局の所屬なるを見ても知るべし然るに今回の撰擧に就ては斷然棄權せしめ逐鹿界を睥睨すべしと唱す

公人私人

▲城戶元亮(大每記者)　九日奉天へ
▲杉田喜之助(滿韓日報記者)　同不知火
▲白石喜治(工學博士)　八日入京天眞樓
▲吉岡豪雄(鴨綠江採木公司技師)　八日來城原金旅館投宿
▲布施他知定(セウルプレッス記者)　八日入京浦尾旅館投宿

民團議員豫選投票

民團議員豫選投票規定

一、京城民團民會議員適任者と認むる者卅名を有資格者中より選出する事
一、投票用紙は本新報に刷込ある用紙に限る事但し投票人は無記名とす
一、一枚の用紙に認むべき議員適任者の數は五人以內たるべき事
一、投票は本社前の投票函若しくは左の箇所に於ける本社投票函へ投入の事

本町一丁目　青木堂新築場前
本町二丁目　町田文林堂橫
本町四丁目 花月通り　中村時計店橫
本町六丁目 洋服商　灘山支店橫
明治二丁目　日韓印刷會社前
南大門停車場　伊藤組出張所前
龍山新市街 山下町　小杉組出張所前
龍山舊市街民團役所出張所　會澤事務所前

右の外郵送及び直送の分は從前の通り本社豫選投票函へ宛らるゝ事

一、締切は明治四十四年一月二十日とす但し日々に於ける投票の結果は日々の紙上に於て公にすべし
一、總開票は締切の當日若は翌日とす但其結果は本紙上に公にすべし
一、總開票立會人は追つて決定の上發表すべし
右以外必要の事は追次本紙上に廣告す

（九日締切迄の得票）

氏名	得票
和田常市	五百六十一票
釘本藤次郎	五百五十八票
中村再造	五百四十四票
中島司馬之助	五百〇八票
高橋章之助	五百七十八票
三好和三郎	四百六十五票
秋吉富太郎	四百五十票
增田三穗	四百三十七票
池田長兵衞	四百二十二票
大久保雅彥	四百三十票
關繁太郎	四百二十八票
梶原末太郎	四百十五票
菅原大太郎	四百〇八票
古城梅溪	三百八十七票
大村保太	三百七十七票
城六太	三百七十一票
田村義二郎	三百五十四票
石井新	三百三十八票
皆川廣濟	三百三十五票
大村百藏	三百三十三票
深水清	三百二十一票
德久米藏	三百十七票
原勝一	三百〇八票
田中始一郎	三百〇三票
兼古禮藏	二百九十三票
前田熊市	二百九十一票
進辰馬	二百八十九票
曾我勉	二百八十七票
小林藤右衞門	二百八十三票
松浦源治	二百八十票
石橋利三郎	二百七十六票
執行猪太郎	二百六十五票
淵上貞介	二百四十三票
佐々正之	二百三十七票
伊藤友松	二百二十五票
阪敬明	二百十八票
池田長次郎	二百十五票
佐野彥藏	百九十一票
大坪文吉	百五十六票
海津三雄	百五十二票
益永十作	百四十三票
國井泉	百三十八票
白木爲次郎	百〇四票
林田金次郎	八十六票
大橋清三郎	八十二票

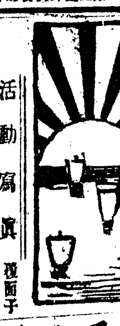
十六票橋本彌三、十二票山下新太郎、九票村井喜七、三票曾恆、三票澤越政七、二票勢一助市、二票熊谷寬亮、一票安藤謙一、同市川石鵬、同小林源六、同山本新太郎、同小森虎吉

注意

前號に發表せし得點者にて點數の其儘なるものは本日の表に加へず尙本日よりは五十點以下の得點は新候補者以外は不揭載

▲治外法權▼

寺內總督は近日南鮮巡視の途に就かるゝソウだ、總督の巡視、南鮮が濟めばコレで汽車の通ずるところだけは了り氏、歲末歲始休暇中の仕事としては之れで十分だ▲ダガ茲に記者の希望を云へば總督に向かつて巡視を願ひたいのは汽車の通ずるところよりは寧ろ汽車の通ぜざるところだ、語を換へて云へば文明に後れ王化にれくれ居る地方だ、見よ各停車場から數里を入れば米が一石四圓で大豆が一石一圓五十錢ではないか、斯く米や大豆が安くて農民が貧に甘んぜざるを得ぬのは全く王化に後れ居るが爲だ▲歌人は居ながらにして名所を知ると申す、寺內總督が王化に後れ居る地方の狀態を居ながらにして知悉せらるることは万々の事だ、併し百聞は一見に若かずと申す、ドウカ此次の巡視は汽車沿道以外に願ひたいものだ▲序に申す、總督今回の巡視に護衞が多過ぎたとか、總督の時間を明瞭にせざりしとか、大分世評があるようだが之は評さるる者よりは評する者が馬鹿だ、寺內將軍一旦身を以て任せし上は、サカ彌次馬の飛出す位を恐れては居まい、僞人の將軍を見る奚んぞ斯く輕きに失する▲併し實際を云へば僞人の方にも不平の理屈はあるのだ、例せば總督來ると聞き停車場に出迎つて敬意を表せんと驛長に總督の乘車の着驛時間を尋ねた者があつた、驛長は乘車着驛の時間を知らぬ筈がないのに恰も絕体に秘密にするの要あるが如く寄々熊々尋ねた者に向かつて相判らずと答へた之け僅かに驛長が惡い、南鮮巡視には、コンナ事が無い樣にシタイ▲南鮮地方の農業家資本家連合して東拓の橫暴を押んが爲め彈劾的陳情書を政友會幹部に送つたソウだ、而して該陳情書が同時に內閣及び總督府に送らるゝソウだ▲嗚呼汝無爲無能の東拓、汝は何が故に斯く爲政者に面倒をカケルか、宇佐川たる者今に於て意決し政府迷惑の種を滅すべしだ▲總督府は內地の輕便鐵道補助法を應用して半島各地方の輕鐵に對し幾分の補助を與へんかと目下內議中だソウだ、由來輕鐵補助はあまり感服せぬが此種の補助は有効かも知れぬ。



活動寫眞 渡面子

九日 朝の南大門驛

朝霧、漸く晴れんとして風が寒い、人は未だ眠りより覺めぬ、來かゝる白衣の鮮人三人、丹頂の鶴を歩ませつゝ過ぐる、朝霧に滲う包まれたる南大門を仰ぎてふと太古の有樣も斯くやと想像して見た、停車場は淋しい、タイムの進むに從つて幾分か人寄るも至極平凡であるのか嬉しい、一等室に入れば

醫學士三上利造

手荷物六個の內と認めた小包が見へる、書いた儘の車上には、富山縣人和田喜太郎氏は其の手荷物と書いた大行李の上に

御見舞和田常市

の進物帽を重ねてある、彼れは大行李を托し僅のみを提さげて喫茶店へと入る、

大邱行の行李十四個

は托送濟となつて一隅に積み上げてある、汗ばんだ車夫は一個の大トランクを擔ひ來た

總督府警視 境喜明君

が來た、彼れは母堂病氣の爲めに鄕里に向ふのであるも、彼のトランクには瀋陽館と云ふ旅館の貼紙が見へた、瀋陽とは奉天の清名だ、此旅館は即ち奉天小西門外の一流の日本旅館である、と思つてる耳に近く、花子や〳〵とチヨコ〳〵歩行の兒を追ふ婦人がある、花子、奉天と書いて妙な聯想が起つた、と云ふのは奉天公園內の動物中に馬鹿●と名づくる一頭の鹿がある、形は馬にして頭に鹿角を有して黑龍江省の產である、清國にては敢て珍とするに足らぬも、日本で馬鹿●と云へば一種の侮蔑である、若し此馬鹿を京城に放養したらば、定めし愉快であらう、夫れから花子●と云へば日本の女子に其名が澤山ある、處が清國にては、花子●はホアーツと云つて、乞食の名稱であるなぞ今更思にもつかぬ想ひが浮かんだ、立派な大トランクには

城戶元亮

と云ふ名刺が見へて奉天行としてある

破損せる行李二個

一個は新義州日勝旅館內河田常造行、一個は千葉縣君津郡和田喜太郎と云ふ人のである、新義州は近距離だが、千葉は遠距離だ、途中の危險を慮かつて差出人も請取人もちと注意して何うだ、

●●●午前九時二分と同十三分とに南北兩行の列車を迭つて歸途電車中に此記を草した、急しい事だ、また明日。

●徴兵適齡に就

本年の徴兵適齡者は廿三年十二月二日より廿四年十二月一日迄に出生したる者適齡に相當するを以て現に朝鮮に在住し居る適齡者は左記各注意事項熟知の上右屆出を怠り處罰せらるゝ事無き樣注意すべし

一、徴兵身體檢査は左記軍隊に於て施行せらる

羅南步兵第四聯隊、咸興步兵第三聯隊第三大隊、元山第三十二聯隊第一大隊、龍山步兵第六十五聯隊、平壤步兵第二十九聯隊、大邱臨時朝鮮派遣步兵第二聯隊、釜山步兵第二聯隊第三大隊、光州步兵第二聯隊第二大隊、大田步兵第一聯隊

二、希望徴兵檢査地は豫め願書に其旨を記し居住地管轄の軍隊に願出る事

三、徴兵身體を受けんとする者は左の雛形に依り願書に戶籍謄本を添へ明治四十四年二月十日迄に前項軍隊に願出さるゝ事

但願書は正副二通を要す戶籍謄本を右期日迄に差出し難き場合に在りては先づ願書のみを差出し謄本は追て差出すことを得

徴兵身體檢査願

本籍地……在留地……(民團役所居留濟)

族籍職業…… 氏名 生年月日

希望檢査地(何々)

明治四十四年度徴兵適齡に付何地に於て徴兵身體檢査を受け度候間御許可相成度此段奉願候也

年月日 氏名 印

隊長 宛

四、願書を差出したるものは其隊長より許可證を受け檢査の前日迄檢査地に到り檢査員に屆出でらるゝ事

五、身體檢査は四月一日より同五日迄の間に於て呼出令狀に示す日に於て施行せられ檢査を受くるものは當日本人の寫眞(撮影のもの)攜帶し檢査員へ差出さるゝ事

六、徴兵令第十二條に依り內地部隊にて現役に服するを出願し又は一年志願兵を志し學術試驗を要するものは身體檢査を受けんとするものは檢査日迄に上記の軍隊に願出で身體檢査を受くる事を得其願書は徴兵身體檢査の願書に準し戶籍謄本及寫眞は檢査官に差出さるゝ事

●自業自得

支那領事館前通りに長崎縣人馬場某とて多少資產を有する者あり何か商賣を營んと計畫中同縣人の自稱明法學士白野某(二十八)なる者が困り居るを見て親切にも小使錢等も不自由なく給與し食客とし居りしに妻君のきよ子(三十五)は子供二人迄も有りながら不貞腐されにも白野が渋皮の剝けた少々意氣な所に惚れ込み本夫の隙に姦通するに至り子供は勿論本夫に迄怪しまれ遂に現場を看破さるゝに至り離緣の上食客と共に放逐され今は悲境に陷り入り居るとは天罰と云ふ可し

●鮮人電車に衝突

八日午後零時五十三分京畿道果川郡玄石里金雲前妻李姓女(五五)が古市町の軌道を通行の際驀路の爲め電車の警鐘を聞き損ひ其接近し來るに狼狽して遁れんとする際電車に彈き飛ばされ頭部に長さ一寸深さ骨膜に達する二ヶ所の大怪我を爲し其場に仆れたるを電氣會社にては氣の毒に思ひ本人の遠慮するを強いて漢城病院に入院せしめ目下治療中

今日此頃



●飲代の踏損ね

東京生れ當時龍山本町一丁目四十番戶龍山軒內中間政義(三二)は八日夜旭町一丁目賓來に登りて一圓五十錢の飲食を爲し多少の金子を持ち乍らオプツを決め込み泥醉を裝ふて飲代を踏まんとするより同家にては直ちに其筋に訴へ出でたるより警官出張取調の結果右の始末と解り否應なしに支拂はせられたるより政義は狂醉に事寄せて亂暴を始めたるより遂に南部署に同行せられ說諭の上放還されたり

なるが一週間位にて全治の見込なりと

龜鶴樓上の捕物

▽危かりし仲居の一命

和歌山縣海草郡貴志村大字栄谷八百七十八番地當時住所不定小川桑吉(三十)は昨年八月頃より壽町食道樂帳場に雇はれ中同家仲居島根縣人小島いの(二十)と深き情合となり遂に內緣を結び居りしが桑吉は持て生れた浮氣男とて其の當時より清水席の町藝妓一奴に惚け店の金二百餘圓を浪費し刑事問題迄惹起せんとしたるを主人の情に依り訓戒放逐となりし次第十月一日小嶋いのと手に手を取り大連に行きしも程よき生活の途なきよりいのは間もなく歸國すると稱し一時袂れ大連を出發し桑吉は同地の建築請負業高岡又一郎方の店員に雇はるゝ事となりたり然るに小島いのと袂れる際京城食道樂には足を向けざる事に確く誓ひしにいのは直ちに京城に來り食道樂に入込みたるより此の事誰れとなく知らせたる者あるより大に憤慨していのを殺害して自分も自殺せんと決心して短銃を購求し店金五百五十圓を拐帶十一月二十一日午前十時大連發列車にて出發安東縣を經て京城方面に入り込み形跡あるより其の筋より各警察署に取押方打電ありし以來南部署に於ても各刑事注意中の所一昨八日午前十時新町遊廓龜鶴樓に登樓遊興中なるを長野岸兩刑事探知し御用と取押へ本署に引致取調べしに彼は前記の如く十一月二十日逃走後二十四日午後十一時龍山驛に下車大陽館に止宿すると稱し手荷物を預け平素知己なる南山町一丁目森塚丑太郎方に立寄りたるに警察の搜査嚴重なると大陽館に預けたる手荷物龍山憲兵分隊に押收されし事を知り到底小島いのが傍に近寄る事能はざるは勿論逮捕を恐れ二十五日東京に向け出發横濱等各地を徘徊十二月二十八日再び渡鮮三十一日京城に來り永樂町三丁目待合船月亭に到り青木某と僞名し本年一月三日迄滯在せしが警察より刑事の來りしを聞き込み又もや飲食費四十餘圓を踏倒し密かに開城迄逃げ翌日釜山に至り鮮人宿に泊りしが小島いのが目下食道樂主人の經營せる新町遊廓龜鶴樓の仲居として勤め居る事を聞き込み去る七日午後十時三十分京城に來り龜鶴樓に登樓せしを前記刑事に探知され取押へられたる次第なりと

●頗る汚い喧嘩

清國山東省登州府萊陽縣生れ當時東部崇信坊敎賀里徐戈芳(三二)は糞汲夫に從事中なるが去る八日午前十一時半頃東部崇信坊三仙坪一統一戶雜貨商沈相奎(三十)方に糞汲に行き沈相奎が肥料に貯へある糞を汲みたるより互に爭論を起し格鬪して沈相奎の西部に出血せしめ東部署に取調中

●頭の黑いドブ鼠

長野縣人當時相生町十五番戶町田貞三(二九)は昨年五月太平町二丁目遠藤洋服店々員に雇はれ注文取及集金に從事せしが平素身分不相應の遊興を爲し中の新地及太平町附近の料理店に於て浪費するより南部署岸長野兩刑事に怪まれ居る內瓦斯會社員福田某外四十二名の洋服代金四百四十七圓及外三百餘圓を横領中の新地元日の出樓等にて費消したる事探知され南部署に於て取調の上檢事局に

●清泥清人を襲ふ

山東省生れ當時開城南門外居住金劉同(二五)は七日夜西小門通り張林茂方に忍入り眼時計一個外數點を窃取したる事西部署刑事に探知され檢事局に送らる

●仁川の珠數繋き

仁川本町四丁目川初孫太郎(四十五)方にて一昨夜午後十一時頃同人及び花町一丁目大塚渋吉(二二)同町大谷太八(四十七)本町四丁目濱崎常一(三十二)同中川百松(二三)花房町二丁目山本甚作(三十)の六人にて二階六疊の間にて賭博開帳し居る所を取押へられ場錢十二圓餘を押收引渡し取調中

●若草町の失火

八日午後三時頃若草町一丁目八番地元法典調査局事務官川崎萬藏氏の佛壇より失火し同家一棟と家財什器一切現金二百圓を燒失せり更らに氣の毒なるは同氏

夫人及び下婢某は猛火を

潜りたる爲め頭髮の大部を失ひたりと

出張中に付年末年始の禮を缺く

明治四十四年一月元旦

有吉忠一

●仁川の火事

八日午後十一時五十分仁川京町一丁目加來木藏所有の松䌹洞の氷雪貯藏倉庫より發火したるが常設消防夫及義勇消防夫驅付同倉庫一棟燒失鎮火したり損害高約二百圓位原因取調中

●道具の持主は誰 仁川花町大師堂下金崇龍と云ふ擔軍は八日午後五時頃宮町一丁目より火鉢一個アンカ一個及大工道具一箱の運搬を賴まれ持主と同行する中何つの間にか持主を見失ひ如何共なしかたく派出所へ屆け出たるより宮町派出所に保管しあり心當りの者は願出べし

●炭の主は誰 八日夜二時頃仁川花町二丁目板倉藥店前に炭五俵を擔軍に荷へ捨て置きあるを巡回の警官が發見し附近を取調べたるに牛丁斗り先きの空地に一人の鮮人のコヽミ居るを認め取押へんとしたるに鮮人は警官と見るや雲を霞と逃走せしかば炭は花町派出所に保管しあるも多分何處よりか盜み來りたるものならんと

●ハンカチーフ包 仁川櫻坂町三番地畑山重義は八日午後四時頃同町道路に於て眼鏡、鉛筆、雜記帳入れの木綿のハンカチーフ包を拾得屆出づ

●持主なき自轉車 九日朝一時頃南山町一丁目十八番地空家前に朱塗の自轉車一臺を遺失したるものあり何者のイタヅラなるや未だ其所有者なしといふ

●演藝だより

●壽座 人氣澤山なる市川鯉三郎片岡橋十郎一座十日の替り狂言は前狂言京櫻本朝綱五郎切狂言としては鎌倉三代記にして鯉三郎の本朝綱五郎、三浦之助、松十郎の半時五郎平、佐々木高綱は定めし見ものならむ

●浪花館 大喝采を博し居る東京落語音曲手踊米枝一座にして本日より木戶錢代共二十錢均一

●歌舞伎座 開演初日より毎夜大入なる同座十日の藝題は前狂言小栗判官、切狂言鎌倉三代記との事なれば切狂言は壽座と同じ藝題同夜は兩座の腕比らべで人氣の別れ場所定めし同夜こそ見ものならむ

官製煙草
御小賣店の御取引は特に有利なる條件相談可仕候
久保田良店 電話一五三番

今日の運勢

一月十日 舊十二月十日 八白 庚辰 先負 平

△一白●類勢の日萬事靜穩の事旅行會談貸借婚談起業起工開店凶 ●二黑 損害を受け紛爭を生ずるあり他人より威壓屈伏を受くる事あり氣は進んで吉 △三碧 勞多くして實の事らざる日なり爭論負傷防ぐべし保證引受印を禁ず △四綠 不得要領に了らんとす新事入事に不可農林業には凡て吉 △五黃 保證受印を禁ず家族從者の事注意すべし婚談共同組合連盟の事見合すべし △六白 賣買貸借委囑商議懇談熟議に吉旅行轉住に忌む △七赤 相談契約賣買貸借婚談に吉色情の破れを戒しむ △八白 新事旅行祝典入學門見合せたるべし酒色の害盜難遺失を畏るべし △九紫 賣買貸借 金談 出願出訴進んで吉旅行に忌み童僕の事注意すべし(本町五丁目三一館判斷)

廣告

京城居留民團告示第一號
左記ノ者京城居留民會議員選擧人名簿ニ登錄ス
明治四十四年一月九日
南山町一丁目七十三番戶 飯島榮太郎 慶應三年三月三日生

謹近火御見舞
櫻井町 山根杢治 樋下田仙藏

京城聯合大賣出し景品當籤廣告
一等 五百二十五番 (但し一、二、三等は各上記の番號を基準番として壹萬飛び毎に當籤とす)
二等 五千五百二番
三等 二千八百七十三番 (但し此番號を基準番として壹千飛び毎に當籤とす)
四等 二百三十六番
五等 九十九番 (但し此番號を基準番として壹百飛び毎に當籤とす)
右本日抽籤の結果前記の通り當籤致し候に付景品は本月十日より三十一日迄京城日本人商業會議所に於て景品劵引替進呈可致候也
四十四年一月七日
京城聯合繁榮會

院主舊臘ヨリ「エーリツヒ」氏ノ新驅黴藥六〇六號實地見學ノ爲メ福岡醫科大學へ出張中ノ處今般歸院從前ノ通リ診療ニ從事ス
皮膚病黴毒科(梅毒特に慢性病) 專門
泌尿生殖科(生殖器機能障碍)
診療時間(午前九時より正午まで 夜間五時より九時まで)日曜大祭日午前中 入院隨意
京城郵便局裏 清國領事館前通 佐藤皮膚病院 電話一一七三番
院主 前福岡醫科大學皮膚病梅毒泌尿生殖器科醫員 佐藤伊藏

文房具 和洋紙 測量器械
京城本町一丁目郵便局前 シノサキ本店
並買次營業申候 電話六四八番 振替朝鮮一五四番

不肖儀今般京城日報社販賣部長を辭し左記業務を經營仕候間將來一層御愛顧の程奉願上候 益永十作
京城壽町三丁目七十四番戶 諸官衙御用達 雜貨販賣 新聞取次賣捌 博益社
社主 益永十作
用達部(京城壽町三丁目七十番戶 電話千七十六番)
雜貨部(京城黃金通一丁目 總督府醫院門前 電話一三三一番)
新聞部(目下位地撰定中)
自宅(南山町一丁目七十三番戶 電話一千百七十五番)

謹近火御見舞
若草町一丁目 共益社 今宅

投票用紙
京城新報社

●諸公債諸株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候
兼業 諸官衙御用達 紙類洋服小賣
京城本町三丁目
大阪野村德七代理店
田中友吉商店
電話九三九

石油厨爐の最王者 下女イラズ
特許 文明厨爐

飯、湯、魚肉、牛乳、其他煮沸即座に辨ず只賞讃の外なし
都市に限らず如何なる處にもガス以上の便益を供給しつゝあるは本器なり
本器には責任の保證あり商標御認めの上御買求めを乞ふ
小形 圖の如く把手付携帶至極便
各地に特約店あり御旅行用に最適す御購求を乞ふ
發賣元 大阪本町 島田 支店
代理店 京城本町通五丁目 釘本金物店 (電話四十五番)

質
京城太平町二丁目三番元黒澤邸跡
古道具賣買 擔保低利貸金融通
宮永金藏
京城支店

くだり病一切の特効藥
健胃固腸丸
主治 赤痢・コレラ病・腸胃加答兒等に用ひて實効違なり
常に胃腸を丈夫にし…食物の消化を助く
藥價 貳十粒入五錢 四十五粒入拾錢 百粒入貳十錢 三百粒入五十錢 七百粒入壹圓
本劑は全國到る所の賣藥店に取次販賣せり
大阪市東區伏見町堺筋角 本舖 谷回春堂
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

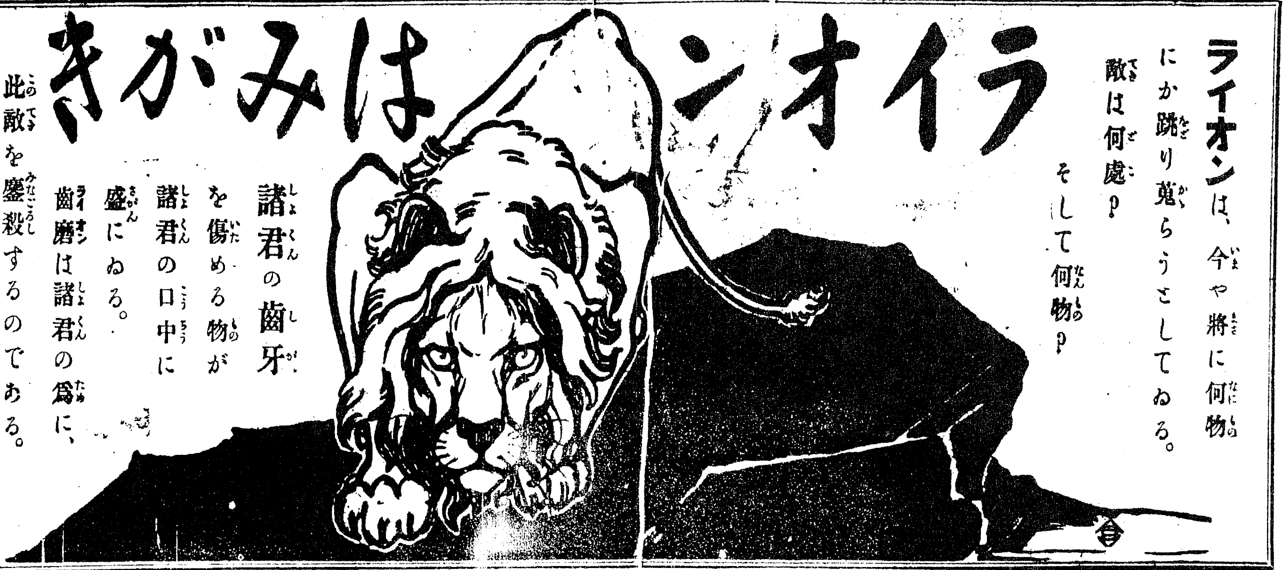
幸福なる生涯を營まんと欲せば先づ身體を强健にせよ
身體の强健を希望せば必ず
蜂印香竄葡萄酒を飲用せざる可からず……
類似品あり 蜂印に注意あれ

然り本酒は身體の健康を助長する無二の滋養供給者にして如何なる虚弱者と雖も不斷之れを飲用せば心身共に快活を覺えて眞に歡樂の境に活動する事を得べし
東京日本橋本町 近藤利兵衛

廣告
一佛國レロイ社製壁紙各種
一英國ランカスター無地リノリユーム
一パンメル蝶番各種
右多數貯藏致居候間御注文願上候
京城エルロンドン商會
明治四十四年一月
吉岡信太郎 電話九九五番

謹賀新年
三製紙會社製造板紙特約店
洋紙各種
紙函封筒 諸袋類製造販賣
京城長谷川町三丁目
鼎商會
電話九百十八番

ボビナイン
飲むだけ血になる
ボビナイン
本品は貧血病に症及之れ似の肺病神經性疾患、衰弱、消耗等の症病後恢復期に卓効あり…
大瓶二圓 四十錢 小瓶一圓 …
横濱市境町 合資會社友田商店
朝鮮代理店 京城本町郵便局前 山岸天佑堂

ライオンはみがき

ライオンは、今や將に何物にか跳り蒐らうとしてゐる。
敵は何處？ そして何物？
諸君の齒牙を傷める物が諸君の口中に盛にゐる。
ライオン齒磨は諸君の爲に、此敵を鏖殺するのである。
發賣元 東京大阪 小林富次郎
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 ── 京城本町三丁目 森久商店

健胃下腹丸
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九百四番 振替口座京城千六十八番

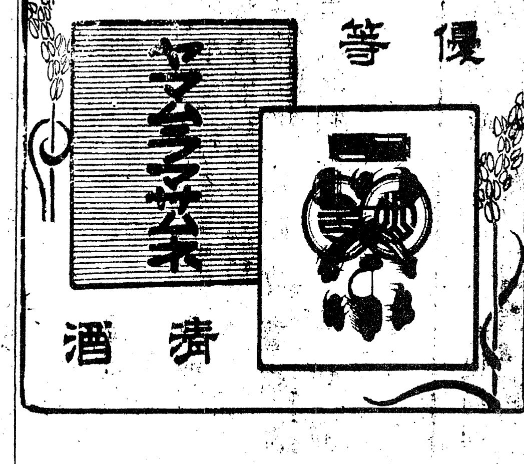
京城 家畜病院
今般鍾路北方昌慶苑内高燥清淨なる衛生地域をトし完全なる病畜舍及治療室を新設し技術鮮能の專門獸醫を傭聘し汎く大小動物家畜の珍療に從事す
入院 隨意
牛、豚、山羊、家鶏等畜殖耕種 隨時御來場御購求の程願上候
京城南大門外 附屬 韓國畜産株式會社 (電話八八番)

神經をおちつめ 腦病を全治す
島村醫學博士の有効證明を得たる健腦丸は、腦病神經病に奇効を奏し、逆上を引下げ、便通を心能し、中風卒中を未發に防ぎ恐るべき腦充血を全治す
腦病全治新藥

記憶力悪き人 頭痛する人 神經衰弱にて氣分鬱ぐ人 常に腦神經を勞する人の必用藥は獨り本劑のみ也
本舖 大阪心齋橋二丁目 丹平商會藥房 …
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九百四番 振替口座京城千六十八番

營業科目
和洋紙類 印刷機械 印刷インキ 和洋書籍 謄寫版 …
藤田合名會社
本社出張所

齒科治療
本町六丁目
ドクトル 中村安子
(電話一五八三)

優等

酒

M.C.C.
エムシーシー
專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣
土耳古 紙卷
京城、平壤 龜屋──釜山、木浦、群山 高瀨支店

人力車引越其他諸荷物運搬請負
西小門內
西門組
電話一一七七

印章彫刻 ゴム印彫刻
京城本町四丁目
赤帽子號印舖
電話九三番

諸官衙御用達
奧野岩太郎